



NPO TRITON ARTS NETWORK

認定NPO法人 トリトン アーツ ネットワーク



スーホの白い馬 大塚勇三再話 赤羽末吉画

子どもといっしょに クラシック～ 「音楽と絵本」コンサート 『スーホの白い馬』

2026年2月21日(土) 14:00開演



過去の様子 ©大塚道治

P.3

NEWS

ウェールズ弦楽四重奏団～ウェールズ・アカデミー ガラ・コンサート

2026年2月1日(日)14:00開演

P.3

STORY

小学生のための「手紙から見る『モーツァルトってどんな人?』」第4回 イタリアのモーツァルト

P.4

NEWS

指揮なし“晴れオケ” ベートーヴェン「田園」 リハーサル見学会開催!!

第一生命ホール 767席の室内楽ホール、ダイナミックな音から繊細な音まで心地よく響きます

トリトン・アーツ・ネットワークとは

音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定NPO法人です。東京都中央区晴海にある第一生命ホールを拠点とし、ホールの主催公演である芸術活動と、周辺地域を中心としたコミュニティ活動を2本の柱として、会員とサポーター(ボランティア)、寄付者の支えを受けて実施しています。

チケットデスク ☎03-3532-5702 (平日11:00～17:00)

<https://triton-arts.net> (オンライン予約は24時間受付)

第一生命ホールへのアクセス

- ◇都営大江戸線「勝どき駅」A2a出口 徒歩8分
- ◇有楽町線・都営大江戸線「月島駅」10番出口 徒歩15分
- ◇都営バス「都03」・「都05」・「東15」「錦13甲」系統利用可
- ◇晴海ライナー(路線バス)「晴海トリトンスクエア」下車(1F直結)
- ◇有料駐車場あり
- ◆豊洲周辺にお住まいの方は、自転車も便利です!!

最新の情報はこちらへ!!

トリトンアーツ

検索

<https://triton-arts.net>

メールニュース登録者には、先行予約などのご案内をお送りしています。



モンゴルの大草原を舞台に、少年スーホと白い馬の絆を描いた美しくも哀しい物語『スーホの白い馬』。小学校の教科書で読んだ方も多いでしょう。2026年2月の「音楽と絵本」コンサートでは、3回目のアンコール上演としてこの『スーホの白い馬』を取り上げます。音楽構成を手がけるピアニストの田村緑さんと、朗読を担当するバリトン歌手の仁賀広大さんにお話をうかがいました。

田村：2010年にはじめてこのコンサートを企画したときは、絵本の選定から担当させていただきました。それまでも図書館などで音楽と絵本を組み合わせたコンサートを行っていましたが、第一生命ホールという素晴らしい空間での上演ということで、少し長めの絵本に取り組みもうと思って、まず目に止まったのが『スーホの白い馬』でした。白い馬が馬頭琴という楽器に生まれ変わるところが心に残っていて、音楽につながるのではないかと。

仁賀：僕も小学生の時、読み聞かせと馬頭琴の実演が入った芸術鑑賞会で、はじめて『スーホの白い馬』に触れました。

絵本をスクリーンに映し出し、朗読、生演奏とともにお届けするこのコンサートでは、馬頭琴ではなく、グリーグのピアノ協奏曲が『スーホの白い馬』の物語を彩ります。

田村：最初にぱっと、グリーグのピアノ協奏曲冒頭のドラマティックなパッセージが頭に浮かびました。あのオープニングを、ティンパニを入れた室内楽編成でやりたいと。グリーグはノルウェーの作曲家ですが、この音楽が持っている色彩感と、モンゴルの草原で繰り広げられるスーホの物語が、不思議と合うような気がしたんです。メロディアスに歌う場面や、美しいハーモニーが広がる場面、馬がリズムカルに走る場面など、物語に合わせて変化に富んだ音楽をお届けできると思いました。

仁賀：音楽家は演奏する時に、自分の中でなにかしら絵を描いていることが多いと思うんです。今回は実際の絵本が映し出されるわけですが、グリーグの音楽からイメージされる情景と、絵本の場面がぴったり合っていると感ずることが多くて驚きます。



中でも思い入れがあるのは、傷だらけになった白馬がスーホのもとに帰ってくる場面だと思います。

田村：白馬が帰ってくるクライマックスのシーンは、第1楽章のピアノ独奏によるカデンツァを合わせました。そこに“ぼくの白馬。死ななideくれ!”という朗読が響き渡ると、つい、弾きながら泣きそうになってしまいます。

今回が初参加となる仁賀さんにとって、朗読は新たなチャレンジとのこと。

仁賀：普段はオペラの舞台で歌うことが多いのですが、オペラも音楽に言葉をのせたり、言葉が変わるタイミングで音楽も変わるものなので、今回の朗読と共通する部分があるように思います。田村さんとの共演ではいつも新しい学びや発見があるので、とても楽しみにしています。

【聞き手／文：原 典子（音楽ジャーナリスト）】

子どもといっしょにクラシック～ 「音楽と絵本」コンサート『スーホの白い馬』

- 田村緑 (ピアノ・お話)
- 野口千代光／千葉純子 (ヴァイオリン)
- 和田志織 (ヴィオラ) ■羽川真介 (チェロ)
- 丸田悠太 (フルート) ■西尾郁子 (クラリネット)
- 小川正毅 (ホルン) ■齋藤綾乃 (打楽器)
- 仁賀広大 (バリトン・絵本朗読)

【第1部】ピアノとそれぞれの楽器のアンサンブル

ホルスト：「木星」～組曲「惑星」より(ピアノ・ソロ)

エルガー：愛のあいさつ(弦楽器の紹介)

ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲 より 第3楽章

シュライナー：だんだん小さく(クラリネット)

アンダーソン：春が来た(ホルン)

ブーランク：3つのノヴェレット 第1番

(クラリネット&ホルン&ピアノ)

ビゼー：歌劇『カルメン』より「間奏曲」(フルート)/

歌劇『カルメン』より「闘牛士の歌」(バリトン)

シュミット：ガーナイア(打楽器)

【第2部】音楽と絵本

絵本「スーホの白い馬」(モンゴル民話、大塚勇三再話、赤羽末吉画 福音館書店)をスクリーンに投影し、生演奏、朗読とともにお届けします。

使用曲

グリーグ：ピアノ協奏曲より(編曲：長生淳 音楽構成：田村緑)

楽器や歌について、田村緑さんのお話を交えて紹介

- 大人 ￥2,500 (中学生以上)
- 小学生 ￥1,500
- 4～6歳 ￥1,500

※4歳以上入場可能、チケットはお1人様1枚必要。有料託児サービスあり(事前申込制/定員制)



『スーホの白い馬』



(モンゴル民話、大塚勇三再話、赤羽末吉画 福音館書店)

昔、モンゴルの草原にスーホという少年がいました。ある日、道ばたに倒れていた生まれたばかりの白い子馬を世話し、大事に育てましたが…。馬と少年スーホの哀切な物語と、モンゴルに伝わる楽器「馬頭琴」の由来が描かれ、感情を揺さぶられるでしょう。(福音館書店紹介文より)

2026年
2月21日(土)
14:00開演
(15:30終演予定)

ウェールズ弦楽四重奏団
～ウェールズ・アカデミー ガラ・コンサート

来年、結成20周年を迎えるウェールズ弦楽四重奏団。2010年から12年までスイスのパーゼル音楽院にて研鑽を積むなど自らの経験を次世代に伝えたいとスタートしたウェールズ・アカデミーも4回目を数えます。過去の受講生たちは、NHK交響楽団や読売日本交響楽団に所属したり、室内楽奏者として演奏するなど活躍の場を広げています。

第4期のオーディションで選ばれたのはカルテットで応募した3組。桐朋オーケストラ・アカデミーでの出会いをきっかけに結成したときとカルテットはハイドンの「ひばり」を、国立音楽大学卒業生＆在学生によるカルテット・チェロはベートーヴェンの第16番を演奏。桐朋学園大学卒業生＆大学院在学生・

卒業生で結成したジェルミナ・カルテットはシューベルトの「四重奏断章」を披露します。

ウェールズ弦楽四重奏団を含めた4組のカルテットが一堂に会するガラ・コンサートをお楽しみいただくとともに、室内楽の未来を担う演奏家へのエールをお願いいたします。



ウェールズ弦楽四重奏団 ©Tomoko Hidaki

ウェールズ弦楽四重奏団
～ウェールズ・アカデミー ガラ・コンサート

■きときとカルテット [伊東香音 / 清水健太郎 (ヴァイオリン)
中島美由 (ヴィオラ) 藤森洸一 (チェロ)]
ハイドン: 弦楽四重奏曲 Op.64-5 「ひばり」

■カルテット・チェロ [谷川絢音 / 西山京花 (ヴァイオリン)
山崎健一郎 (ヴィオラ) 西田歩夢 (チェロ)]
ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第16番 Op.135

■ジェルミナ・カルテット
[吉田みのり / 米岡結姫 (ヴァイオリン) 島 英恵 (ヴィオラ)
金 叙賢 (チェロ)]
シューベルト: 弦楽四重奏曲 第12番 「四重奏断章」

■ウェールズ弦楽四重奏団
[崎谷直人 / 三原久遠 (ヴァイオリン) 横溝耕一 (ヴィオラ)
富岡廉太郎 (チェロ)]
モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第20番 K499
「ホフマイスター」

■一般 ¥4,000
■シニア ¥3,500
■U25 ¥1,500

2026年
2月1日(日)
14:00開演

Schedule
スケジュール

チケットデスク TEL:03-3532-5702(平日11:00～17:00)
<https://triton-arts.net>

子どもといっしょにクラシック
～クリスマス・オーケストラ・コンサート

■ARCUS (管弦楽)
チャイコフスキー: パレエ音楽「くるみ割り人形」より
(木管五重奏版)
モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲 /
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
メンデルスゾーン: 交響曲 第4番 「イタリア」より第1楽章
グラーバー: きよしこの夜 他

■大人 ¥2,500
(中学生以上)
■小学生 ¥1,500
■4～6歳 ¥1,500

※4歳以上入場可能、チケットはお1人様1枚必要。
16:00開演のみ有料託児サービスあり(事前申込制/定員制)

12月14日(日)
10:30 / 13:30
16:00開演

ごほうびクラシック 第16回
ピアノ・オールスターズIV

■ロー磨秀 / 南 杏佳 / 尾城杏奈 / 梅田智也 (ピアノ)
■飯田有抄 (司会)

ドビュッシー: 前奏曲集 より(ロー)
リスト: スペイン狂詩曲 S.254 (南)
ショパン: アンダンテ・スピアナートと華麗な
大ポロネーズ Op.22 (尾城)
ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ第23番 Op.57
「熱情」(梅田) 他

■一般 ¥3,000
■U25 ¥1,500

12月21日(日)
15:00開演

(つづき) 築地社会教育会館、月島社会教育会館、マイホームはるみ、マイホーム新川、アートはるみ、郷土資料館、勝どき児童館、晴海児童館、築地児童館、いきいき勝どき、シルヴァーウィング、協働ステーション中央、リバーシティイングリッシュスクール、小坂子ども元気クリニック・病児保育室、パン・ムラカミ、K音楽教室、バイオリン・アート、月島ピアノ&リトミック、ヤマノミュージックサロン銀座【中央区以外】弦楽器工房高崎、しののめ・とよ音楽教室

0歳からの ML親子クラス 初めての親子英語教室
2歳からの プリスクール 国際基準の英語幼児教育
6歳～9歳 キンダースクール 英語学習としても使えます!

2026 新2歳児 プリスクール 無料体験受付中

↓ ウィンタースクール 12/27(土)～30(火) 年末の楽しいスペシャルイベント!

リバーシティイングリッシュスクール スクールHP
☎ 6204-2106
●生後6か月～ ●2～3歳児クラス
●園児クラス ●小学生クラス ●英会話

外国人講師によるオールイングリッシュにこだわった英語スクール
アウルインターナショナル
プリスクール&アフタースクール・学童保育

・4か月～親子クラス (Mom&Me)
・週1～週5日までのプリスクール (1日4時間以上) (送迎サービス実施中!)
・週5日のキンダークラス
・園児向けアフタースクール・キッズクラブ
・小学生向けアフタースクール・帰国子女クラス・
オールイングリッシュ学童保育
・大人向けクラス

豊洲校開校!

＜清澄白河校＞
江東区清澄1-16-15 パシフィックビル5階 1～2階
03-5809-8726
＜日本橋校＞
日本橋區本町6-4 RENOBLE NINGYOCHO 1F
(人形町駅徒歩2分)
03-6231-1766
＜豊洲校＞
江東区豊洲5-5-20 アースウインド豊洲 3F
03-5809-9838

楽しくバレエを
学びませんか?
体験
レッスン
受付中!

Le Studioでは
バレエ解剖学を学んだ講師陣が
一人ひとりを丁寧に指導。
基礎を大事にした体づくりで
子どもたちの可能性を伸ばします。

中央区演
のバレエ
スタジオ
Le Studio
Ballet & Conditioning

www.le-studio.jp / 中央区清2-12-6 清SYビルB1F / 070-3196-2026

好評発売中

2026年2月28日(土) 14:00開演

宮田大 Dai-versity
第4回
フランス音楽と狂言の世界

日本を代表するチェリスト・宮田大が多様性を表現するコンサート・シリーズ

■宮田 大(チェロ) ■野村万之丞(狂言)
■ロー磨秀(ピアノ) ■若山健太(オーボエ)

プーランク: 三重奏曲 FP43
武満徹: オリオン
ビゼー(山中惇史編): カルメン・ファンタジー

他

■S席 ¥6,000
■A席 ¥5,000
■B席 ¥2,000
■U25 ¥1,500

〒104-6005 東京都中央区晴海1-8-10
晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX棟5階
TEL. 03-3532-5701 FAX. 03-3532-5703
■編集・発行 / 認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
■禁無断転載・複写 ■年10回発行
※特に記載のないものは第一生命ホールでの公演となります。
※表示価格は消費税を含みます。
※シニアは60歳以上。U25は25歳以下。
※やむをえず出演者・曲目・曲順等が変更となる場合がございます。

コミュニティ活動

News & Reports

好評連載中

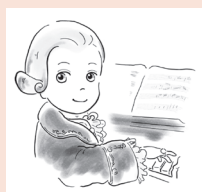
小学生のための「手紙から見る『モーツァルトってどんな人?』」

第4回

Story

イタリアのモーツァルト

モーツァルトの時代、音楽家たちのあこがれの国はイタリアでした。
13さいから数年の間、モーツァルトもお父さんと2人でイタリアに3回
旅行をしています。



ヴェローナのモーツァルト

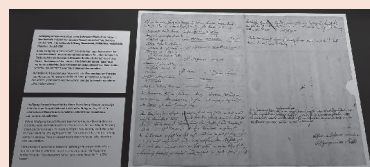
旅先でお父さんはたくさん手紙を書いています。旅
の間に起こったことをおしゃべりしているかのような
お母さんあての手紙からは、仲良しでいつも話がつき
なかった家族の姿が浮かんでくるようです。モーツァ

ルトも、大きくなるにつれてお父さんの手紙に自分でも何か書くようになります。写真の手紙は
お父さんとイタリア旅行中だった14さいの時のもの。お父さんからお母さんへの手紙の最後のページ（右下）に、
モーツァルトもお姉さんのナンネルあてのメッセージを書いています（すべてイタリア語で！）。お母さんとお姉さ
んの肖像画が旅先に届いたようでそのお礼のようです。当時は写真も電話もありませんし、何か月も離れて過ごすの
は寂しかったのでしょうね。お父さんは「おまえたちはちょっと太ったみたいだね。でもちょっと離れれば目立たな
いし、満足しています!」、モーツァルトは「飛び上がってよろこんだ」と書いています。そして「ぼくの代わりに
ママの手に千回キスしてね、お姉さんには1000000回キスします」とも。手紙でキスをおくりあうのはヨーロッパ
の人の習慣ですが、モーツァルト家では手紙の度にどんどんキスが増えて、数えきれない数になっています!

ちなみにお父さんのレオポルトはこの手紙では「1000回のキスをおくります」と
書いていますが、半年ほど前の手紙では「キスをおくりますが1回だけです。おま
えたちが手紙をくれないからです」なんて書いていますよ。今でも読まれている有名
な『ヴァイオリン奏法』（ヴァイオリンの教科書）を書いた、まじめなイメージのお
父さんレオポルトですが、家族に見せる顔はなかなかおちゃめなところもありますね。

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

幼い頃より、父・レオポルトより音楽教育を受
け、5歳で作曲したとみられる作品が残されてい
る。モーツァルト親子は何度もヨーロッパ各地へ
旅行し、音楽の勉強もしながら、作曲した作品
を上演していた。900曲以上の作品を残し、オ
ペラ「フィガロの結婚」「魔笛」、交響曲「ジュピ
ター」、ピアノ・ソナタ「トルコ行進曲」や、ピアノ
のための「きらきら星変奏曲」などが有名。



1776年7月28日ボローニャからの手紙。ザルツブルクのモーツァルト住家「イタリアのモーツァルト」展（2024年8月）で撮影

指揮なし“晴れオケ” ベートーヴェン「田園」リハーサル見学会開催!!
〈中央区民・江東区民のみなさまへ! 先行抽選でひと足早くご招待〉

News

第一生命ホールを拠点に活動する“トリトン晴れた海のオーケストラ（晴れオケ）”。大きな特徴は、オーケストラなのに指揮者がいないこと。
コンサートマスター矢部達哉さんのもとに集まった、プロオーケストラなどで活躍するメンバーによって構成されています。

ベートーヴェン交響曲第6番「田園」のリハーサルの一部をご覧ください。見学会にご招待します（解説等はございません）。

■日時:2026年1月16日(金)11:00~(1時間程度)

※途中入退場はできません。

■会場:第一生命ホール

■曲目:ベートーヴェン:

交響曲 第6番「田園」(予定)

■対象:小学生以上

■定員:100名様

■参加費:無料(事前申込制)

※2026年1月6日(火)12:00より先着順でwebにて受付開始

詳細は、ホームページ <https://triton-arts.net> をご覧ください。

■お問い合わせ

トリトンアーツ・チケットデスク TEL:03-3532-5702(平日11:00~17:00)

《中央区・江東区在住者限定 先行抽選》

一般申込に先がけて、中央区・江東区にお住まいの方を対
象に、抽選で60名様をご招待します。

【応募条件】 中央区または江東区在住の方(小学生以上)

【先行応募期間】 2025年12月4日(木)~21日(日)

【抽選結果】2025年12月24日(水)までにメールでご連絡



行ってきました!

(コミュニティ活動記録)

9月29日(月) 中央区立日本橋小学校アウトリーチ

浜 まゆみ (マリンバ)

小林 拓史 (パーカッション)

10月8日(水) 中央区立晴海保育園アウトリーチ

鈴木絵由子 (ヴァイオリン)

岩根 愛 (ヴァイオリン、ヴィオラ)

山田健史 (チェロ) 佐々木大輔 (コントラバス)

※ホームページにレポートを随時更新しております。「コミュニ
ティ活動」の「コミュニティ活動レポート」をご覧ください。